湖南高校だより

新体制の船出！順風満帆！

十月五日に生徒会新役員が認証され、新体制が正式に発足しました。同日、新旧役員懇談会がもたれ、湖南高校の今後の針路について話し合われました。また、部活動では新チームで新人戦に臨み、顕著な成績を収めることができました。一方、三年生にとってはいよいよ進路実現の季節が訪れました。

新生徒会役員

九月九日に立会演説会が行われ、その後の選挙で生徒会役員に立候補した全員が信任されました。大山絢也君は二期目の会長職で、前任期に徹底できなかった「挨拶の励行」を訴えました。また、新旧役員の懇談会では、部の増設や全校生徒の部加入、スマートフォンの使用ルールの見直し、学校や地域のＰＲ動画の作成などが話題に上りました。この話し合いの一部は、「ふくしまの教育に関する提案書」として福島県教育委員会に提出しました。新生徒会役員の今後の活動に期待したいところです。

左から校長、牧山美里（書記）、阿部凌大（副会長）、大山絢也（会長）、大山紗生（副会長）、遠藤洸太郎（会計）

部活動も代替わり

春の大会はコロナ禍のため中止になってしまいましたが、新人戦は無事開催され、本校の運動部員も活躍しました。

団体・個人ともに県大会出場を決めたソフトテニス部男子

ソフトテニス部は、九月十一日から郡山庭球場で行われた県中地区大会において、男子個人戦で高橋優斗・大山絢也ペアがベスト１６、男子団体戦では第七位に入り、個人戦、団体戦ともに県大会に駒を進めました。男子チームとしての新しい歴史をつくってくれそうな予感がします。

また、ボート部は、九月四日から荻野漕艇場で行われた県大会において、女子シングルスカルで樋口愛が第四位、男子シングルスカルで諸橋俊輔が第四位に入りました。東北大会出場は逃したものの、新しい目標をもって今日もハードな練習に耐え自分を鍛え上げています。あなたもボート部で、新しい挑戦をしてみませんか。

湖南高校ボート部の伝統を守り抜こうと強い意志をもって大会に臨んだ樋口愛さん

体育祭（運動会）

秋晴れの十月二日、湖南高校ならではの行事の一つ「運動会」が催されました。生徒会新旧役員と体育委員が中心となって企画・運営するこの行事、毎年、注目は、生徒たちの自由な発想で決まる競技種目。今年度は、リレーや綱引き、障害物競走など定番の種目の他、イントロクイズやカラオケ大会など趣向を凝らした企画が盛り沢山でした。生徒たちのコールで、計七人の先生方が熱唱することとなったカラオケでは、先生方の思わぬ一面を垣間見ることができました。閉会式後、新旧役員の引き継ぎがあり、佐藤聖也君・磯貝拓斗君、新田夏菜さんの三年生三名が名実ともに引退しました。お疲れさま。

綱引きで優勝に輝いた3年生

障害物競走でマシュマロをいち早く見つけ疾走する１年生

校訓

誠実　勤勉
志高　聡明
自律　協同

湖南高校　発行
福島県南酒造場　行
南長井　学校
高等　祐治

コミュニティ・スクール

第三回学校運営協議会

十月七日、本校職員及び学校運営協議会委員の方々を対象に『地域協働の学校づくりのための研修会』を行いました。講師として「高校魅力化プロジェクト」の中心メンバーとして活躍されている藤岡慎二先生をお招きし、「教育の魅力化による地域の活性化」との演題で講演を頂きました。リモートとは思えないほどの熱い思いが伝わり、とても刺激を受けました。

講師の藤岡先生もリモートで協議会にご参加下さいました

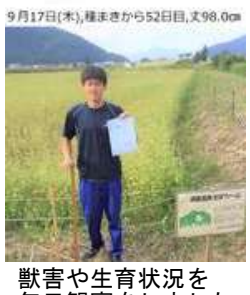
研修会に続いて開かれた第三回の協議会では、小山伝一郎会長及び学校長からの挨拶の後、事務局から『蕎麦プロジェクト』など前回協議会の議事に関わる報告や先進校視察についての計画が発表されました。

蕎麦プロジェクト

九月二日、『蕎麦プロジェクト』の一環として、理科の授業に県農業総合センター会津地域研究所の新田靖晃先生をお招きして、農作物としてのソバの特性について講演を頂きました。興味を深めた生徒たちからは活発に質問も出されました。

クイズ形式など分かり易い説明が印象的でした

12㌃の「そばファーム」を全て手刈りしました



獣害や生育状況を毎日観察をしました

生育観察を続け、種まきから七十日目の十月五日、地元の生産組合代表の桑名秀一郎さんと認定農業者の阿部敏満さんのご指導の下、全校生徒で刈り取りをしました。協議会の委員の方々も参加され、約二時間ソバとの格闘を続けました。

そして十日後の十五日には、体育館にシートを敷き詰め、やはり手作業で脱穀・選別作業を行いました。当日はＴＶ取材など多くのメディアに取りあげられました。生徒は「ソバがどれだけ手間をかけて食卓に届けられているのか学ぶことができた」「大変だからこそおいしいということが分かった」「（農家である僕も）大人になってやる時が来たらしっかりやっていきたい」などと感想を綴っていました。

昔ながらの唐箕を阿部さんからお借りして脱穀をしました

体育館のギャラリーでソバをはぜかけにして乾燥しました

他校との交流も盛んです

猪苗代高との交流

本校の一年生と猪苗代高校の一年生が合同で防災教育のワークショップを行いました。当初、国立磐梯青少年交流の家で宿泊を伴い実施する予定でしたが、新型コロナ感染防止の為、九月十五・十六の両日、日帰りで実施しました。猪苗代湖をはさんでの南と北、今後も地域に根ざした連携の可能性を探っていこうと思います。

非常時に備え、水と燃料を節約した防災炊飯を行いました

三校合同ＷＳ

十月二十二日、本校と同じくコミュニティ・スクールとして地域に根ざした学校づくりを進めている西会津高校と川口高校の一年生と、「地域課題探究ワークショップ」を合同で行いました。小規模校という共通の環境で学校生活を送る者同士、「理想の地域の未来」について意見を交わしながら、それぞれに交流を深め合っていました。

修学旅行&秋の遠足

十月二十四日より四日間、二年生が関西・四国方面に修学旅行に出かけました。新型コロナ感染防止の観点から修学旅行を中止した高校もありましたが、本校では当初予定していた大阪を取り止め、徳島・香川など四国方面に切りかえるなどできうる限りの感染防止策を講じ、なんとか高校生にとっての一大イベントの実施に漕ぎ着けました。おかげで、京都・奈良の定番の見学地は勿論、「こんぴらさん」や讃岐の「うどん打ち」、鳴門のうず潮「観潮船」や世界最長の吊り橋「明石海峡大橋」など、なかなか味わえない体験をすることができました。

一方、一・三年生の「秋の遠足」は、ｇｏｔｏトラベルの助成を活かし、十月三十日、那須方面に行ってきました。

２年生全員が四国は初めてとの事。淡路島から徳島県に渡り、鳴門の渦潮を見ました。

編集後記

自律心が強く誠実で、部活動や学校行事に積極的に取り組んできてくれた三年生も、その役割を下級生に引き継ぎ、それぞれの針路に向け、船を漕ぎ出そうとしています。一抹の寂しさはありますが、私たち職員は、最後の最後まで彼らをピッカピカに磨き上げ、次の舞台に送り出したいと思っています。磐梯山のように志高く、猪苗代湖のように清く広い心を、きっと身につけさせて。皆様も応援よろしくお願いします。（猪苗代子）

約3週間、全職員で就職希望者の履歴書・面接指導にあたっています

KONAN

猪苗代湖と磐梯山をモチーフにしたこのロゴは、校内の『湖南町のロゴを勝手につくっちゃお』企画で選ばれた作品です。今後、湖南町の諸機関と共有し、町の振興に活用していきたいと思っています。ご賛同頂ける方は、どうぞ湖南高校までご連絡下さい。

湖南高校まるわかりの近道、学校HPも常に更新しています（閲覧頻度現在1日約3000件）。下記のQRコードからご覧下さい。